

平成25年行政事業レビューシート

(復興庁)

事業名	福島県における観光関連復興支援事業		担当部局庁	復興庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	福島復興再生基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島県における基幹産業である、観光関連産業の復興を促進させることにより、福島県全体の活性化につなげ福島県の早期の復興を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	福島県における早期の観光復興を最大限に促進するため、同県が実施する風評被害対策及び震災復興に資する観光関連事業に対して補助を行う。 (補助率:総事業費の8/10)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	/	/	/	378	695
		補正予算	/	/	/	-	/
		繰越し等	/	/	/	-	/
		計	/	/	/	378	695
	執行額		/	/	/	/	/
執行率(%)		/	/	/	/	/	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	目標年度:平成32年度 ・観光客入込数(63,000千人以上) ・県内宿泊旅行者数(11,000千人以上) ・県内の外国人宿泊者数(13万人以上) ・教育旅行における県内宿泊者数(75万人以上)		成果実績	-	/	/	-
			達成度	%	/	/	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	東日本大震災及び原子力災害からの復興・再生に向け、中長期計画に基づく以下の方針により実施するため、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない。 1. 風評の払拭と観光復興に向けた継続的な取組 2. 戦略的ターゲティングに基づいた観光復興への誘導 3. 「ふくしまの宝」の見直し・ブラッシュアップ・活用		活動実績 (当初見込み)	-	()	()	()
単位当たりコスト	377,000,000(円/一式)		算出根拠	活動指標及び活動実績にかかる経費一式			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	185	78	福島県からの要望等を踏まえ所要の金額を要求			
	職員旅費	615	621				
	委員等旅費	326	10				
	観光関連復興支援事業費補助金	377,000	695,546				
計	378,126	696,255					

事業所管部局による点検				
	項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	風評被害が著しい福島県より強い要望があり、国の復興対策として行う必要がある
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	福島県を対象とした事業であるため、支出先等については妥当性を確保している
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	風評被害により、大きな打撃を受けている福島県の観光関連産業について県からの強い要望をうけて、国として観光復興の対策を打つことは必要性が高いと言える			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-	事業の目的である福島の観光関連産業の復興を促進に向け、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-	引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
	平成22年	平成23年	平成24年	25新-23

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

復興庁
378百万円

観光庁へ移替え



観光庁
377百万円

諸謝金
0百万円

職員旅費
1百万円

委員等旅費
0百万円

福島県における早期の観光復興を最大限に促進するため、同県が実施する風評被害対策及び震災復興に資する観光関連事業に対して補助を行う。



【補助】

福島県
377百万円

福島県観光関連復興事業実施計画に基づく風評被害対策及び震災復興に資する観光関連事業を実施



【委託・請負】

民間会社等
377百万円

福島県観光関連復興事業実施計画に基づく風評被害対策及び震災復興に資する観光関連事業を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)